

北斗市総合戦略 [案]

第 1 基本的な考え方

1 戦略策定の趣旨

(1) 北斗市のまちづくり

北斗市は、平成 18 年 2 月 1 日に誕生し、第一次北斗市総合計画において「あなたが主役可能性を未来に」を掲げ“歴史や文化、資源を生かす豊かな環境都市 新幹線が拓く、輝きのまち”をシンボルテーマにまちづくりを展開しており、自然と調和した産業の発展とともに北海道新幹線開業(平成 28 年 3 月 26 日開業)をまちづくりの核として、充実した子育て支援や高齢者福祉をはじめとする福祉施策や教育環境の向上、人材育成とあわせた協働のまちづくりなどに取り組んでいます。

一方、地方の暮らしにおいて重要な地域経済や人口は、比較的緩やかではあるものの停滞や減少の傾向にあり、全国的な状況と一致しているところでもあります。

(2) 総合戦略策定の趣旨

総合戦略は、北斗市における中長期の展望に立ったまちづくりを進めるにおいて、喫緊の課題である北海道新幹線開業を活かした地域経済の活力を高め、東京圏などへの経済・人口の一極集中による転出超過のほか、出生率の低下などを要因とする人口減少の改善に向けて、重点的に展開する政策の目標や施策の基本的な方向と内容をまとめたものです。

また、総合戦略に掲げる施策は、国における「長期ビジョン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案するとともに、行政と市民、地域、団体及び企業が共有し、展開する中期的なまちづくり戦略として位置付けます。

2 戦略の期間

総合戦略の計画期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。

3 基本目標

北斗市では、市民の誰もが幸せに生きていくための願いを込めた“ふるさとづくりの指針”となる「市民憲章」において、産業、福祉、文化、教育、環境の5項目を柱に市民の理想像と行動目標を次のとおり掲げています。

- ・ 仕事に誇りをもち 豊かで活力のある産業のまちをつくります
- ・ 健康で安心な 温もりのある福祉のまちをつくります
- ・ 豊かに息づく伝統を 高める文化のまちをつくります
- ・ 心豊かに 学び合う教育のまちをつくります
- ・ 美しい自然を 未来につなげる環境のまちをつくります

総合戦略では、この市民憲章(ふるさとづくりの指針)に沿って市民一人ひとりが、このまちに生まれ住んでよかったと生きがいを感じられるよう、行政を先頭に多様な主体による取り組みが必要となります。

このため、これまでのまちづくりを力強く継続するとともに、北海道新幹線開業を活かして地域の活力を高め、若者をはじめ幅広い世代が北斗市の魅力を体感できる地域づくりに重点を置き、総合戦略における基本目標を次のとおり設定します。

(1) 北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる

～ 安定した雇用を創出します ～

〔主な施策〕

- ・ 新函館北斗駅及び周辺における雇用の創出
- ・ 北海道新幹線の拠点機能を活かした観光振興
- ・ 特産品開発と6次産業化の推進
- ・ お客さまをお迎えする
- ・ 二次交通の充実による交流人口の拡大
- ・ 企業立地による雇用創出と地域経済の活性化
- ・ まちをもっと元気にする産業振興

(2) 北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

～ 地方への新しい人の流れをつくります ～

〔主な施策〕

- ・ 移住・定住の促進
- ・ 政府関係機関、民間機能の地方移転誘致の推進
- ・ 交流人口の拡大

(3) 子どもを生み、育てたいという希望をかなえる

～ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます ～

〔主な施策〕

- ・子育て支援の推進
- ・子どもの力を引き出す教育環境づくり
- ・社会気運の醸成

(4) 住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る

～ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携
します ～

〔主な施策〕

- ・コミュニティ機能の向上
- ・市町間連携による暮らしの機能の維持
- ・都市インフラ・公共施設の延命化
- ・茂辺地地区・石別地区の地域振興

4 効果的な推進に向け

総合戦略を効果的に推進するため、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則等を踏まえ、具体的な数値目標の設定及び効果検証と改善を実施し、必要に応じて総合戦略の改訂を行います。

(1) 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方

- ① 人口減少と地域経済縮小の克服
- ② まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立
「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

(2) 「まち・ひと・しごと創生」に向けた政策5原則

- ① 自立性
構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。
- ② 将来性
地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを基本とする。
- ③ 地域性
各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援する。

④ 直接性

最大限の効果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。

⑤ 結果重視

P D C Aメカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

(3) 基本目標とKPIによるPDCAサイクルの展開

総合戦略は、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の各過程において、横断的な庁内体制を構築し、高い実効性を確保することが必要となります。

このため、基本目標ごとに5年後に実現すべき成果に係る数値目標を設定するとともに、各施策における効果を客観的に検証できる指標（K P I（重要業績評価指標）を設定します。このように、目指すべき成果を具体的かつ適切な数値で示し、検証と必要な改善を行ってまいります。

《参考》

K P I = Key Performance Indicator の略称で「重要業績評価指標」のこと。総合戦略では、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことをいいます。

P D C A = Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の略称で、総合戦略のマネジメント手法として取り入れます。

(4) 市民や産官学金労言の参画による推進体制の構築

総合戦略は、市民及び産官学金労言の参画を得た「北斗市総合戦略策定検討・推進会議」による議論を経て策定された経緯を踏まえ、事後においても北斗市総合戦略策定検討・推進会議による検証を行い、基本目標の達成に向けて総合戦略を推進します。

第2 基本目標に基づく施策の基本的方向・主な施策

【基本目標1】

北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる

～ 安定した雇用を創出する ～

■ 数値目標(H31) 新規雇用増加数 400人

1 基本的な施策の方向

北海道新幹線・新函館北斗駅周辺への企業立地による雇用の創出と地域資源を最大限に活かした交流人口の拡大による地域経済の活性化や立地条件の優位性を活かした企業の競争力の強化と若い世代の雇用機会づくりをするとともに、津軽海峡と肥沃な大地がもたらす地元製品のブランド力の向上、一次産業の高収益化や6次産業化など産業の振興と雇用の創出を目指します。

2 主な施策

施策の展開	重要業績評価指標 (KPI)
<p>(1) 新函館北斗駅及び周辺における雇用の創出</p> <p>北海道新幹線開業による地域経済の活性化に向け、新函館北斗駅前街区への企業立地による雇用の創出と新函館北斗駅及び周辺地区における集客力を高める施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 新函館北斗駅前への企業立地の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新駅周辺への宿泊施設・商業業務系施設の誘致 ●新駅周辺地区企業立地助成による立地促進(期間延長) ●企業立地の促進に関する助成制度の拡充 など <p>② 観光交流センターの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光案内所の設置・運営 ●地元産品や道産品を販売するアンテナショップなどの設置・運営 ●その他駅利用者の利便性を高める施設運営 など <p>③ 新函館北斗駅周辺における集客力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●立体駐車場使用料の無料化(当分の間) ●賑わいを創出するイベント等の開催 など 	<p>企業立地数 (物販店舗を含む) ⇒ 50社</p> <p>雇用増加数 ⇒ 300名</p>

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (K P I)
<p>(2) 北海道新幹線の拠点機能を活かした観光振興</p> <p>北海道新幹線の拠点機能や自然資源を活かした食と観光の振興を図るとともに、文化・スポーツ施設を活用した合宿誘致などにより交流人口を拡大する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 新函館北斗駅と自然資源を活かした観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新駅周辺への物販施設整備や食関連企業立地等への助成制度による海と大地の恵みを活かした食の振興 ●歴史と自然ブランドを活かした観光・交流人口の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・観光・歴史・縁のスポットを活かした市内周遊観光コースの設定・PRと観光コースへの付加価値化 ・桜回廊(しだれ桜・陣屋桜・桜並木)とライトアップ ・一次産業の魅力を活かした体験型観光への誘導 ・観光協会と連携した観光商品の開発 ●自然景観を活かした映画等ロケーション誘致 ●観光プロモーションなど人を呼び込む事業展開 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏、北関東以北における観光PR活動の展開 ・北海道新幹線、東北新幹線沿線自治体等の連携による観光プロモーションの推進 など <p>② 文化・スポーツ施設を活用した交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合運動公園拡充によるスポーツ合宿誘致の強化 ●文化施設を活用した文化合宿の創設 など <p>③ 各種イベントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開業(前・日・後)イベントの開催 ●既存イベントの充実 など <p>④ 広域観光による交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周辺地域の素材を活かした広域観光ルートづくり など 	<p>観光入込客数 ⇒ 150万人</p>
<p>(3) 特産品開発と6次産業化の推進</p> <p>津軽海峡と肥沃な大地がもたらす豊富で安全・安心な一次産品を活かした特産品の開発・販売と6次産業化を推進する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 特産品等の開発・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域資源を活用した新商品開発への支援 ●特産品販路の開拓・拡大への支援 ●ふるさと納税を活用した特産品の普及促進 など <p>② 6次産業化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●6次産業化の推進--- ●一次産品直販施設への支援と高付加価値化の推進 など 	<p>新規開発特産品数 ⇒ 50特産品 (年間10品)</p> <p>一次産品直販施設 販売額 ⇒ 2億5千万円</p>

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (K P I)
<p>(4) お客さまをお迎えする</p> <p>新函館北斗駅がある街にふさわしい、旅行者の皆さまをお迎えする新たな風土を育む施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホスピタリティ意識の高揚 ●新駅周辺を花で彩るおもてなし ●観光スポットへの誘導標識の整備 ●外国人観光客等の受入環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・W i - F i 設置事業者への支援 ・外国語接客用語シートの作成・支援 ・クレジットカード等決済端末導入支援 など 	<p>市内宿泊者数 ⇒ 9万人</p>
<p>(5) 二次交通の充実による交流人口の拡大</p> <p>市内の魅力を結び、交流人口が広がる基盤となる公共交通を充実する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 公共交通による利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ●交流人口の拡大に対応できるバス交通などの充実 ●バス交通利用者の利便性の向上 ●市内ハイヤー事業者による取り組みの周知 など ② 道南いさりび鉄道の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ●市内周遊が可能な道南いさりび鉄道との連携 など 	<p>市内運行の路線バス 乗車密度 ⇒ 6.3人</p>
<p>(6) 企業立地による雇用創出と地域経済の活性化</p> <p>北斗市の立地環境の優位性を活かした企業立地によって企業の競争力を高め雇用を創出する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 立地環境の優位性を活かした企業立地の促進 <ul style="list-style-type: none"> ●企業立地の促進に関する助成制度の拡充 ●雇用支援と連携した企業立地の促進、雇用拡大 など ② 企業立地の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ●立地環境の優位性のPRと企業集積化の調査研究 など 	<p>新駅周辺以外への企業立地数(増設含む) ⇒ 10社</p> <p>雇用増加数 ⇒ 100人</p>

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (K P I)
<p>(7) まちをもっと元気にする産業振興</p> <p>一次産業の高収益化や商店街の活性化など、まちを元気にする地域の産業振興を図る施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設園芸野菜の高収益化を図る施設整備への支援 ●新規就農者支援による担い手の確保 など <p>② 漁業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホッキ、アサリ、カキなどつくり育てる漁業の推進 ●水産物の販売促進支援による高収益化 ●新規就漁者支援による担い手の確保 など <p>③ 商工業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中小企業振興基本条例に基づく創業支援や資金融資等 ●商店街への新規出店を誘導する商店街活性化対策 など 	<p>新規就農者数 ⇒ 10人 (2人/年)</p> <p>新規就漁者数 ⇒ 5人 (1人/年)</p> <p>新規起業・創業 ⇒ 25人 (5人/年)</p>

【基本目標 2】

北斗市らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

～ 地方への新しい人の流れをつくる ～

■ 数値目標(H31) 社会動態の均衡

1 基本的な施策の方向

北海道新幹線をはじめとする高速交通体系網の拠点エリアとしての利便性を暮らしに活かせるまちの優位性に加えて、子育て支援をはじめとする福祉や教育の充実など、暮らし続けるという視点から“北斗市の素晴らしさ”を発信するとともに、文化・スポーツ施設の充実などの都市環境を活かした交流人口の拡大や官民連携による空き家の利活用促進などにより、誰もが選択したくなるまちを目指します。

◎ 北斗市らしさ(暮らしの視点から)

- 北海道新幹線「新函館北斗駅」による時間的な距離短縮を各分野で最大限に活かすことができます。

新函館北斗駅 ↔ 東京	最速 4 時間 2 分
新函館北斗駅 ↔ 大宮	〃 3 時間 3 8 分
新函館北斗駅 ↔ 仙台	〃 2 時間 3 0 分
新函館北斗駅 ↔ 盛岡	〃 1 時間 5 0 分
新函館北斗駅 ↔ 新青森	〃 1 時間 1 分
新函館北斗駅 ↔ 札幌	約 1 時間 1 0 分 (札幌延伸時)

- 出産、子育て支援から高齢者支援まで暮らしに応じた福祉が充実しているとともに、学校、文化・スポーツの施設充実など、教育環境が整っています。
- 津軽海峡に面した函館圏域にある都市機能とあわせて、日々の暮らしの中や、身近なところに豊かな自然環境がある、都市と自然が共生しているまちです。
- 一次産業の基盤が整っており、新たな担い手を支援する制度があります。
- 近年は全国的な傾向と同じく若者の流出はありますが、産業に偏りがなく、それぞれの能力を発揮できるチャンスのあるまちです。
- 市の財政は健全な状況にあり、財政状況は市ホームページでご覧になれます。

2 主な施策

施策の展開	重要業績評価指標 (KPI)
<p>(1) 移住・定住の促進</p> <p>北斗市らしさを積極的に発信し、人を呼び込み、呼び戻すとともに、北海道新幹線をはじめとする高速交通体系網の拠点エリアとしての優位性を活かしたI・J・Uターンや空き家バンクなどによる移住・定住に関する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 知ってもらおう・ほくと <ul style="list-style-type: none"> ●移住希望者をサポートする相談・支援体制の構築 ●北斗市の情報を広く発信する情報発信機能の充実 など ② 行ってみよう・ほくと <ul style="list-style-type: none"> ●一次産業の体験型観光等と連携した北斗市体験事業 ●移住(希望)者を対象とした市政スクールなど交流事業の開催によるコミュニティ構築支援 など ③ 住んでみよう・ほくと <ul style="list-style-type: none"> ●移住者(世帯)向け支援制度の創設(雇用促進を含む) ●移住者が希望する備品等を提供可能な移住者向けサポート体制の取り組み など ④ あき家再りよう・ほくと <ul style="list-style-type: none"> ●空き家バンクの開設と民間事業者と連携した空き家活用推進体制の構築 ●空き家利活用への支援 など 	<p>札幌圏及び道外からの転入者数 ⇒ 700人</p> <p>首都圏との人口移動 ⇒ 均衡化</p>
<p>(2) 政府関係機関、民間機能の地方移転誘致の推進</p> <p>北海道新幹線をはじめとする高速交通体系網の拠点エリアとしての優位性を活かした政府関係機関や民間企業の本社機能(出先機関・研究機関など)の地方移転誘致を推進する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●政府関係機関や民間企業の一部機能に関する地方移転誘致の推進 ●国の施策と連携した地方拠点強化税制の整備(固定資産税の不均一課税) 	<p>誘致活動の取組 ⇒ 2件以上</p>

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (KPI)
<p>(3) 交流人口の拡大</p> <p>文化・スポーツ施設を活用した文化・スポーツ合宿の誘致と全道・全国規模の大会を誘致するなど、交流人口を拡大する施策を展開します。</p> <p>また、市内でも人口減少が進んでいる茂辺地地区と石別地区にしかない良さ【道路交通の利便性、安価な土地、恵まれた自然環境など】を活かし高めることで、両地区における交流人口を拡大する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 文化・スポーツ施設を活用した交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合運動公園拡充によるスポーツ交流人口の拡大 ●道南いさりび鉄道と沿線公共施設の集客力向上による交流人口の拡大 など <p>② 茂辺地地区・石別地区の交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の資源や駅舎を活かした魅力ある地域づくりによる交流人口の拡大 など 	<p>合宿誘致による交流人口数 ⇒ 5,500人</p> <p>茂辺地地区・石別地区の交流人口数 ⇒ 9万人</p>

【基本目標3】

子どもを生み、育てたいという希望をかなえる

～ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ～

■ 数値目標(H31) 合計特殊出生率 1.55

1 基本的な施策の方向

人口減少問題という日本社会が直面している社会現象の背景の一つとして指摘されている未婚化・晩婚化・晩産化には、結婚や出産が個人の人生設計や価値観などに基づくことを尊重しつつ、人口問題を取り巻く様々な要因や課題について、行政、関係機関及び市民が共有したうえで、結婚し、安心して子どもを生み育てたいという希望をかなえる地域の実情に応じた対策が求められます。

また、今日の社会において、男女が出会い、結婚し、安心して子どもを産み育てるには、多様な暮らし方のニーズにあった環境整備や妊娠・出産・子育ての段階に応じた公的サービスが必要です。

北斗市の子育て支援は、高校生までの医療費無料化をはじめ、これまでも厚みのある施策を実施してきており、さらには、地域による見守り活動や文化・スポーツ活動を通じた子どもの力を引き出す教育環境づくりなどによって、子育て環境は充実しています。

このような子育て支援をさらに進化させるため、妊娠・出産前後のサポート体制の充実などに取り組み、安心して子どもを産み育てることができる子育て環境の深化を目指すとともに、未婚化・晩婚化・晩産化を見つめる社会気運の醸成を図ります。

2 主な施策

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (K P I)
<p>(1) 子育て支援の推進</p> <p>北斗市では、高校生までの子ども医療費の無料化をはじめとする先駆的な子育て支援を地域の福祉・医療機関の協力も得た中で幅広く展開しており、今後も、妊娠・出産からお子さんの成長に応じたニーズの把握と子育て支援の進化に向けて施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none">●子育て支援を所管する部署を分離・新設し、相談機能を含めた行政窓口のワンストップ化	

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (K P I)
<ul style="list-style-type: none"> ●社会環境の変化に応じた子育て支援に関する満足度の把握と子育て支援策の最適化 など ② 妊娠・出産期からの親子の健康を保つために <ul style="list-style-type: none"> ●妊娠・出産直後の妊産婦を支え、女性が安心して出産を迎えられる支援事業の実施 ●産前産後サポートや産後の母体・乳児をケアする産後ケアなど母子サポート事業の実施 ●不妊治療への支援 など ③ 子どもを安心して生み育てるために <ul style="list-style-type: none"> ●高校生までの医療費を無料とする子ども医療費助成やひとり親家庭等の医療費助成の実施 ●保育所の保育時間の延長(仕事と家庭の両立支援) ●乳児保育を充実する専任保育士確保への支援 ●障がい児保育の推進 ●子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園等への入所児童にかかる保育料の負担軽減 ●子どもの発達段階に応じた予防接種の実施 など ④ 子どもを健やかに育てるために <ul style="list-style-type: none"> ●学校給食費の負担軽減の実施 ●生活環境に応じた就学費用の助成 ●放課後児童クラブの保育時間の延長(仕事と家庭両立支援) ●奨学金の貸付け ●子育て世帯への移住・定住支援 など 	<p>出生数 ⇒ 320人</p>
<p>(2) 子どもの力を引き出す教育環境づくり</p> <p>子どもは、日本の将来を担う大切な存在であるという大きな原点に立ち、子育て支援とともに子どもの持っている潜在的な能力を引き出し、さらに高める教育環境をつくる施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもの学力や能力を引き出し、さらに高める特色ある学校づくり ●一定規模学級への補助教員の配置 ●I C T教育実施の環境整備 ●子どもにあった教育環境を選択する特認校への通学費用の助成 ●小中学校や地域で活動する文化・スポーツ活動における全道・全国大会への参加費用の助成 など 	<p>児童・生徒数 ⇒ 3,773人</p>

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (K P I)
<p>(3) 社会気運の醸成</p> <p>今日、全国的に見られる未婚化・晩婚化・晩産化について、国や道の取り組みとの連携を図り、人口問題に関する社会気運の醸成を図ります。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●思春期教室等による赤ちゃん(子ども)を育む環境づくり ●北海道などと連携した男女の出会いの機会などに関する情報発信 など 	<p>結婚率 ⇒ 4.2%</p>

【基本目標 4】

住みたいという暮らしの環境をつくり守る

～ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する ～

■ 数値目標(H31) 人口 46,200人

1 基本的な施策の方向

北斗市では、協働のまちづくりの理念に基づき、市民目線と市民感覚を大切にし、誠実で温もりのある市民参加と協働による生き生きとした地域づくりに取り組んでおり、地域コミュニティの中核を担う町内会による各種活動が活発に展開されています。

少子・高齢化社会から人口減少時代を迎えた今日にあって、誰もが北斗市に住みたいと思えるまちづくりには、地域のコミュニティ機能及び公共交通や医療など暮らしの機能の向上と安心・安全なまちづくりが重要であり、このような取り組みに向けて必要な基盤の最適化を目指します。

また、市内の地域でも高齢化や人口減少の傾向が増している茂辺地地区及び石別地区については、里の魅力を再発見し、その魅力を北斗市内外で共有する情報発信とともに、地域に暮らす方々が誇れる地域づくりを目指します。

2 主な施策

施策の展開	重要業績評価指標(KPI)
<p>(1) コミュニティ機能の向上</p> <p>地域の暮らしにおいて地域コミュニティは重要な機能であり、様々な地域課題を解決する「地域力」の基盤となるもので、高齢化や人口減少の進行によって、その低下が懸念されることから、地域コミュニティ機能を維持・向上する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 町内会活動への支援など地域力の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none">●町内会活動の活性化や地域協働の取り組みへの支援●町内会活動の拠点となる町内会館整備等への支援●移住(希望)者も対象とした市政スクールなど交流事業の開催 など	<p>町内会加入率 ⇒ 86.3%</p>

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (K P I)
<p>② 暮らし機能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●危険空き家対策の取り組み ●地域コミュニティバスの運行と利用者ニーズに応じた改善 ●洪水・土砂災害用ハザードマップの改訂 ●公共施設運営の充実による利便性の向上 など 	
<p>(2) 市町間連携による暮らしの機能の維持</p> <p>医療や地域交通なども定住環境に必要な機能であり、市町村連携による広域的な視点や民間団体・企業の参加促進も含めて、その機能をつくり守る施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 鉄道交通(道南いさりび鉄道)の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鉄道交通を守る道南いさりび鉄道への出資等 ●市民にとって身近な公共交通を再認識するマイルール意識の醸成 ●乗車券自動券売機の設置による利便性の確保 ●通学定期券購入者への助成による緩和措置 ●駅周辺の公共施設の魅力度アップや沿線資源の活用による鉄道を利用したくなる環境づくり など <p>② 広域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定住自立圏事業の円滑な実施 など <p>③ 都市交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京北区や縁のある都市などとの都市観光流の推進 ●東京北斗会ふるさと訪問による都市住民と郷土との交流 など 	<p>道南いさりび鉄道 輸送密度 ⇒ 600人台</p> <p>定住自立圏協定に基づく連携項目 ⇒ 8項目</p>
<p>(3) 都市インフラ・公共施設の延命化</p> <p>道路や橋梁など都市インフラの延命化や公共施設の施設改修等を計画的に実施します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路等の主要インフラの延命化計画の策定と施工 ●公共施設管理計画の策定と計画的な修繕施工 など 	<p>計画的な施設改修による維持管理費 ⇒ 平準化</p>

施 策 の 展 開	重要業績評価指標 (K P I)
<p>(4) 茂辺地地区・石別地区の地域振興</p> <p>茂辺地地区と石別地区は市内の中でも高齢化や人口減少の傾向が増しており対策が急がれるため、地域の基幹産業である漁業の振興とあわせて、地域の魅力の再発見とその特色を活かした地域の方々が誇れる地域づくりに関する施策を展開します。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>① 里の再発見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域づくり事業を展開する推進体制の構築(大学等との連携を含む) ●地域資源の再発見と活用による「北斗市こだわりヴレッジ」などの事業化 など <p>② 地域振興を目的とした助成制度における優遇措置の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合戦略によるまちの活力を高める事業(助成制度)において、茂辺地地区・石別地区を対象とした優遇支援措置を設定する。 	<p>茂辺地・石別地区の人口の社会動態 ⇒ 均衡化</p>